審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	甲州市地域公共交通会議
開催日時	令和８年８月２６日　　午後２時００分　～　午後２時５５分
開催場所	甲州市役所 本庁舎 地下第一会議室
議題	１　甲州市地域公共交通計画の構成案について ２　その他
出席委員	小澤会長・池田委員（代理）上野様・奥川委員・河住委員・小笠原委員・宇田委員・古屋委員・山縣委員・丸山委員・白川委員・林委員（代理）本山様・下平委員（代理）太田様・和多田委員・山本委員（代理）前嶋様・長田委員（代理）三枝様・宮原委員
会議の公開又は非公開の区分	※（公開）、一部公開、非公開のいずれかを記載
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	０人
審議概要	※　要約筆記とする場合は、できるだけ審議等の経過がわかるようにする。 別紙のとおり
事務局に係る事項	※　事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等 都市整備課　都市計画担当　0553-32-5072
その他	※　上記以外で審議会等が必要と認める事項

令和8年度甲州市地域公共交通会議　第3回会議　議事録

日時：令和 8 年 8 月 26 日（水）午後2時より
場所：甲州市役所　地下　第１会議室

出席者：　16 名

計画策定委託業者：3名

山梨県随行：1 名

欠席者：8名

事務局：5

傍聴者：なし

1　開会（午後2時）
事務局）
　7月に書面開催した、第2回甲州市地域公共交通会議についてのお礼と、委員の交代について、公共交通計画の策定委託業者も同席することを報告。

2　会長あいさつ

3　議事
(1)甲州市地域公共交通計画の構成案について
　事務局より説明。

委　員：　塩山駅週末夜間タクシー運行支援という全国でも珍しい取り組みについて。お客様から喜びの声を聞いているので、今後もこれを持続していただけると、助かるので、ぜひ継続をお願いしたい。
事務局：週末夜間タクシーに対する現況について報告。
　引き続き実施しながら、状況を見極めつつという形にはなると思うが、継続していければと考えているので、ご協力をお願いしたい。
会　長：うれしい誤算というか、甲州市民だけでなく、市外の方からもありがたい事業だということで、県の担当者もいるので、広域的な広がりがあれば、県の施策としてご検討いただければと思う。

委　員：市民ニーズの中に、例えば、市外の拠点施設への市民バスだったり、デマンドバスだったりとかの声は上がっているのか。
他市町村の地域公共交通計画でも他地域の主要拠点に行きたいという市民の声が少し上がってきているということを聞いている。そのような声があるかどうかを聞きたい。

事務局：市外へのアクセスというところは、やはりアンケートの中にもある。市内にも病院はあるが、市外に通院する高齢者は一定数いることは把握している。
なかなか市外でバスを走らせるところのハードルは高い部分もあり、その辺は課題として受け止めている。

会　長：特に医療機関ということで限られた地域資源なので、そういうニーズはある。

委　員：質問が何点かある。まず、一点目。タクシーの運行支援について。先ほど全国でもかなり珍しい事例ということで、 県内でも話題になっている。一方で、夜間の対応ができる運転手が、今は維持されていると思うが、今後の見通しを、協議会でも事務局でも分かれば教えていただきたい。
もう一点目、観光客の数が、コロナ禍の大体9割ぐらいということで、コロナ前までには戻っていないというような形もある。観光客の今後の推移みたいなところの見立てがもしあれば、ご教示いただきたい。

委　員：タクシーの乗務員について。給与面と高齢化で乗務員が減っているという現状である。賃金面が確保できているかどうかが、夜間については特に課題になってくると思う。

会　長：　もう一つの観光客の方については、事務局にお願いする。

事務局：観光客の見込み数だが、6月議会でもお話ししたとおり、ホテルの誘致を考えている。ホテル稼働率60%と考えても、年間およそ13万人が宿泊できると見込んでいる。それだけの観光客数が夜間滞在するので、公共交通会議で今後検討していく時期が来るのではないかと考える。塩山駅、勝沼ぶどう郷駅のタクシー、観光周遊バス全てに増が見込めるという認識でいるが、そういった対応も事務局としては検討課題としていく。

委　員：今後、夜間の交通が問題というか必要になっていくということが分かった。夜の交通だと地元との調整があるが、夜間の観光需要に絞った公共ライドシェアの実証事業も市町村と一緒にやっているので、意見交換をさせていただければと思う。

委　員：　観光の関係で、観光したいニーズはコロナ前に戻りつつあるということを分析している。勝沼駅からワイナリー巡りをするお客様が、いかに効率よく行けるかというところも、この会議の場でちょっと話し合っていただきたい。

事務局：6月に勝沼駅を起点とした、勝沼地域の観光活性化の協定を締結した。現在その協定の中で、まさにこの公共交通会議に関わる二次交通といったところの改善の検討に取り組んでいる。今後こういった機会を利用させていただきながら、情報提供していくので、皆様のお力添えをよろしくお願いしたい。

（2）その他
事務局：山梨県勝沼地域自動運転タクシー事業について、県の担当者より報告と説明。

委　員：地区にはお知らせ等はないのか。
事務局：8月号と9月号広報でお知らせする。

会　長：この事業に関しては、当然タクシー事業者の皆様、またあのバス事業者の皆様に大変ご協力とご理解をいただいて、進められることになった。甲州市としても感謝申し上げる。
この実証事業が、将来の実装に向けていければなというふうに思っている。県内でも初めてということになる。市民の皆様にもご理解いただきながら進められるようにしたいというふうに考えている。

4　閉会　（午後2時55分）